

# 調査概要

- **調査テーマ** 大学生の学習・生活に関する意識・実態
- **調査目的** 大学生の学習・生活全般にわたる意識や行動を多様な観点からとらえ、大学教育を中心としたこれからの大学生を取り巻く環境を考えていくための基礎データとして活用すること。また、広く一般に結果を公表し、社会に還元すること。
- **調査方法** インターネット調査
- **対象と抽出方法** 全国の大学1～4年生 4,948名

	1年生	2年生	3年生	4年生	計
男子	670	670	670	670	2,680
女子	567	567	567	567	2,268
計	1,237	1,237	1,237	1,237	4,948

インターネット調査会社の約420万人のモニター母集団のうち、「大学生」として登録されている約15万人に対して予備調査を実施。このうち、大学1～4年生（18～24歳、日本在住）にアンケートの協力を依頼。

文部科学省の『平成28年度学校基本調査』の男女比率に近いサンプル構成を目指して回収を行った。

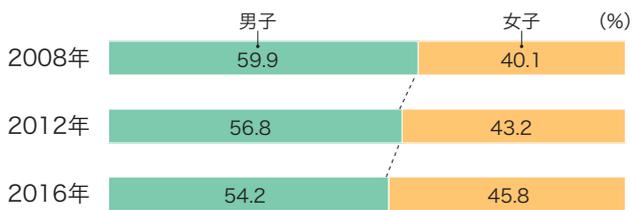
- **調査時期** 2016年11月18日～12月20日
- **調査項目** 高校での学習/大学選択で重視した点/入学時の期待/大学生活で力を入れたこと/大学生生活の過ごし方/履修科目数/評価/教職員との交流/保護者との関係/友だち関係/大学教育観/学びの機会/学びに対する姿勢・態度/大学生活で身についたこと/海外留学の意向/進路意識/建学の精神やポリシーの認知/大学生生活の満足度/学びの充実/成長実感/社会観・就労観/投票行動など

過去の調査	実施時期	対象	調査方法
第1回	2008年10月上旬	大学1～4年生 4,070名 (男子2,439名、女子1,631名)	インターネット調査
第2回	2012年11月上旬	大学1～4年生 4,911名 (男子2,791名、女子2,120名)	インターネット調査

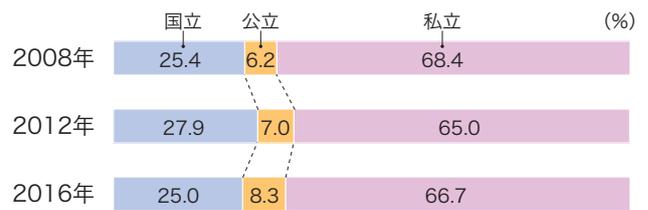
## 目次

基本属性	3	3-3	学びに対する姿勢・態度	13
1 高校からの接続		3-4	大学生活で身についたこと	14
1-1 高校時代の学習	4	3-5	転学意向・履修状況・評価方法	15
1-2 進路決定	5	4 大学生の意識と行動		
2 大学生の生活		4-1	留学意向・グローバル意識	16
2-1 大学入学時の気持ち	6	4-2	就職活動	18
2-2 力を入れたこと・経済環境	7	4-3	大学教育に対する理解・満足	19
2-3 生活時間	8	4-4	学びの充実度・成長実感	20
2-4 教職員との交流・保護者との関係	9	4-5	困難への対処法	21
2-5 友だち関係	10	4-6	価値観	22
3 大学生の学び		4-7	投票行動	23
3-1 大学教育観	11	調査企画・分析メンバー		24
3-2 学びの機会	12			

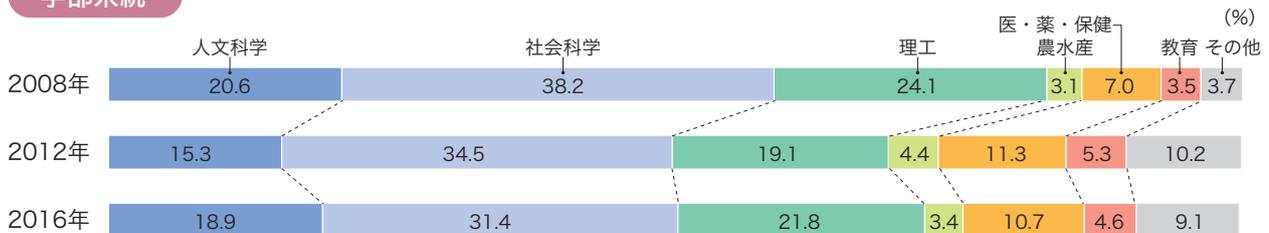
## 性別



## 設置者



## 学部系統



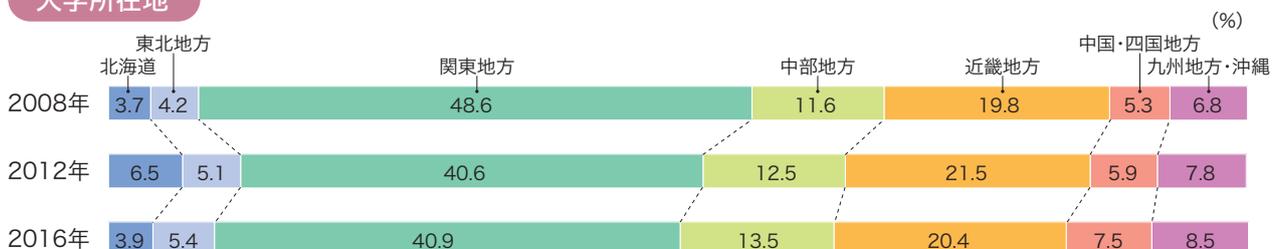
学部系統の区分	調査票で示した学部系統
人文科学	人文系統（文学、心理学、文化学など） 外国語学系統（外国語学部など） 国際学系統（国際関係学、国際情報など）
社会科学	社会学系統（社会学部、社会福祉学部など） 法学系統（法学、政治学、政治経済学など） 経済学系統（経済、経営、商学部、流通学など）
理工	理学系統（理学部、生命科学、地球環境など） 工学系統（理工学部、システム工、情報工など）
農水産	農学・水産学系統（農、水産、生物資源、獣医、酪農など）
医・薬・保健	保健衛生系統（保健、保健医療、看護、看護医療など） 医学（医学部） 歯学（歯学部） 薬学系統（薬学部など）
教育	教育学系統（学校教育学など）
その他	生活科学系統（家政、食物栄養、人間発達、保育など） 芸術系統（造形、音楽など） 総合科学（総合）系統（総合科学、教養、環境情報など）

## 入試難易度(偏差値)



※設問「あなたの通っている大学の入試難易度にあてはまるものを1つお選びください。」に、回答者が選択した結果。

## 大学所在地



### 【本調査結果を読む際の留意点】

- ・本調査結果で使用している百分比 (%) は、有効回答数のうち、その設問に該当する回答者を母数として算出し、小数点第2位以下を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、数値の和が100にならない場合がある。
- ・図表内の ( ) 内の値はサンプル数を表す。なお、とくに注記がない場合は有効回答数4,948を母数として算出している。